

週 報



「笑門来福」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588

会長 山口秀一

ロータリー財団月間

第3225回例会	No.17	2019. 11. 13	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分		「我等の生業」
四つのテスト	濱砂睦司 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話 PART2		

会長時間

ロータリー財団の使命

「世界でよいこと」をしてきた100年

1917年、当時の会長アーチ・クランプが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表。26ドル50セントの寄付でスタートした財団は、世界有数の財団に成長し、何百万という人のために人道的支援を行ってきました。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ご寄付が世界にもたらす影響、わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます。50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。

2018会計年度、ロータリー財団は1,306口、合計86,677,399ドルの補助金を授与しました。分野の内訳は、疾病の予防・35億7千万円、安全な水の提供・18億7千万円、教育の支援・11億円、地域経済の発展・11億円、母子の健康・7億3千万円、平和の推進・3億6千万円です。

- ・デュランゴ（米国コロラド州）のクラブは、財団の補助金を活用して、電力の通じていない人里離れたナバホ族居住地の家庭に200以上のソーラーライトを設置しました。
- ・ロータリアンである医師、ピア・シュカラビス・ケルフェルトさんは、長年、ベルリン（ドイツ）の難民を支援する医師のボランティアネットワーク構築に身を捧げてきました。
- ・ハリケーン「マリア」に見舞われたプエルトリコの地域社会の復興を支援するために、ロータリークラブが力を合わせています。

地区補助金は、地区やクラブの幅広いプロジェクトや活動にご活用いただけます。

- ・人道的プロジェクト（奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など）
- ・奨学金（教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし）
- ・青少年プログラム（ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム[RYLA]、ローターアクト、インターアクト）
- ・専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣（現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム）

幹事報告

- 1) 日南振徳高等学校より、振徳通信が届いております。

委員会報告

国際奉仕委員会 11/20 委員会アワーの案内

スマイル

永田浩治君 事務局に、実際とは違う結婚記念日を申告していました。今回の失敗を肝に銘じ、しっかり覚えようと思います。ご迷惑をお掛けしてすいません。

榎木田大資君 最近出席できずすいません。来月の忘年会は、マジック仲間を呼んで、大忘年会を開催したいと思います、大勢の参加をお願い致します。

鬼束忠男君 11/10 振徳館主催の剣道大会松野杯で、孫が中学の部で優勝しました。

例会行事

結婚・誕生者卓話 PART2

阿部政廣君 (結婚)



4か月ぶりにこの壇上に上がりましたが、会長時代が、ふと懐かしく思い出されます。本日は、結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございます。先週、42回目の記念日を迎えました。当の昔に記念日を祝う習慣はなくなっておまして、むしろ残された老後をどうやって生きていくかが、夫婦の会話の中心になってきました。

そういえば最近、不思議と夫婦喧嘩をしなくなったような気がします、お互いの助けがなくては、生活にこまるということを感じずらなくなったからではないでしょうか。

いずれ年老いていきますと、どちらかが最後の面倒を見ることとなります。その日が来た時に後悔しないように、本能的に備えをしているのかもしれない。

昔から、夫婦円満の秘訣は「妥協と我慢」とよく言われますが、40年以上も連れ添っておりますと、相手の感情を瞬時に判断して、条件反射的に「これはやってはいけない」という「妥協と我慢」の行動に出てしまいます。夫婦げんかで無駄なエネルギーを使っても、結果は一緒という諦めでしょうか。これが人間の知恵なのかもしれません、皆さんは如何でしょうか。

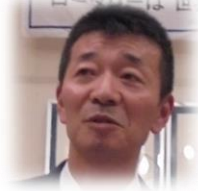
話は変わりますが、11月22日は、皆さんご存知のとおり、「いい夫婦の日」であります。1988年(S.63)、今から31年前に、(財)余暇開発センター(現在の日本生産性本部)が「夫婦で余暇を楽しむ、ゆとりあるライフスタイル」を提案し、政府の経済対策会議を経て、11月を「ゆとりの創造月間」とすることが決議されたそうです。そしてこの日が「いい夫婦の日」となったようであります。結婚の定義は、憲法24条に「婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により維持されなければならない」とされています。わが国では、残念ながら「一夫一婦制」が採用されていますから、当然これに反する行為は憲法違反となります。そうはいっても、男女が一つ屋根の下で末永く住み続けることは、そう簡単なことではありません。それではどうすれば、夫婦円満を維持できるのか、

その1: お互いが「合意契約」に基づいて結婚したことを忘れない。数ある異性の中から、選んで・選ばれて誕生した、唯一のカップルであることを思い出して下さい。

その2: お互いを「尊重」することを忘れない。結婚式の時に神前で誓った言葉を思い出して下さい。

その3: 他の人に目が行ったら「憲法違反」と唱える。踏みとどまることができるかも、しれません。他人事ではなく、これから老後を迎える私自身が、肝に銘じなければならないと思っております。

永田浩治君 (結婚) 10月



結婚記念日のお祝い有難うございました。

この年齢になると結婚記念日について、考えることはほとんどありません。記念日については、非常に疎く、家内、子供3人の誕生日は覚えてはいるのですが、子供へのプレゼントは家内任せ、家内の誕生日も最初の頃はプレゼントをしていましたが、いつに日か何もなくなりました。記念日は特別な事ではないと思って、何もしないことを言い訳としてきました。間違った結婚記念日の事務局に申告をして、今回は、結婚記念日について考える良い機会になり、入行5年目の、宮之城支店で働いていた平成7年10月22日であることを改めて確認しました。

サラリーマンであるが故、今もそうですが、単身赴任の期間も随分あり、無意識に、家内には苦勞を掛けているのかなと思っています。

「自分の事より、相手のことに関心を持つこと」を意識して、結婚記念日に何かプレゼントでも、何かちょっとしたイベントでも検討しようと思います。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HIC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	35	4	31	22	6	3	29	93.54%
出席免除	村上、渡邊、古澤、土屋							
先取MU	竹井、宮田、清水、村社、豊田、村岡							
欠 席	斉藤、峰松、桑村							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：山口秀一 副会長：村岡俊宏 幹事：入中英雄 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。